歌志内市防災備蓄計画

平成２５年３月

（平成２６年11月改定）
（平成２９年５月改定）
（平成２９年６月改定）
（平成３０年６月改定）
（令和　元　年８月改定）
（令和　２　年12月改定）
（令和　３　年９月改定）
（令和　４　年６月改定）
（令和　５　年８月改定）
（令和　６　年11月改定）
（令和　７　年９月改定）
（令和　８　年６月改定）

目　次

１　はじめに　・・・

1　はじめに

本市においては、地形及び過去の災害の状況などから全市的な規模で自然災害が発生する可能性は低いものと考えられるが、北海道胆振中東部地震が発生し、道内の電力供給がストップしたブラックアウトの災害状況を教訓とし、他自治体からの救援要請の可能性等もふまえながら、応急対策として必要最低限の行政備蓄を確保することを基本とし、本計画に基づいて効果的・効率的な整備を推進するものとする。

なお、備蓄物資には食料などの消費期限がある品目も含まれることから、順次入替を行うこととし、年次的・計画的な整備を図るとともに、備蓄の品目・目標等について、社会情勢その他様々な状況に応じて都度検討、修正するものとする。

2　基本的事項

（１）備蓄物資の支給対象者

歌志内市の全人口とする。（令和８年３月末現在 2,454人）

（参考）

年　齢 区　分	人　数 （R08.3月末）	構成比 （%）
0　歳	5	0.25
１～２　歳	19	0.77
3　歳	2	0.08
４～74　歳	1,596	65.0
75　歳以上	832	33.9

・10～55歳の女性　309人　・要介護３以上　68人

（２）備蓄品目

以下の①～③を基本的品目として整備する。

①食料等

（ア）パン缶詰　（イ）アルファ米　（ウ）アルファ米（おかゆ）

（エ）液体ミルク　（オ）フォローアップ液体ミルク

（カ）ミルクアレルギー用粉ミルク　（キ）離乳食（主食、副菜）

（ク）サバイバルフーズ　（ケ）飲料水（ペットボトル入）　（コ）防災用カップ麺

②生活用品等

（ア）毛布　（イ）給水バッグ　（ウ）哺乳瓶　（エ）簡易トイレ・テント

（オ）トイレ処理セット　（カ）トイレットペーパー　（キ）紙おむつ（子ども用）

（ク）紙おむつ（高齢者用）　（ケ）生理用品　（コ）マスク

（サ）アルコール消毒液　（シ）使い捨て手袋

③その他

（ア）土のう袋　　（イ）ブルーシート　　（ウ）懐中電灯　　（エ）救急箱
（オ）段ボールベッド　（カ）カセットコンロ
（キ）対流式ストーブ（付属品：灯油ポリ容器・ポンプ）　　（ク）車いす
（ケ）土のうステーション用パレット　　（コ）土のうステーション用カバー
（サ）防災用断熱シート　　（シ）コードリール
（ス）発電機（低圧LPガス発電機、ガソリン用発電機）　（セ）投光器
（ソ）防災用ラジオ　　（タ）災害対策用プライベートルーム
（チ）トイレハウス

※　以上のほか、避難施設の状況等に応じ、通信機器、暖房器具、調理器具等の資器材の整備を検討する。

（３）備蓄目標

主たる食料及び毛布などの基本的備蓄品目については、当面の間、本市における過去の災害の発生規模及び市内居住区域の現状等から総合的に判断し、全人口の約20％相当、２日分程度を目安として整備を進め、消費期限経過による入替や仕様の見直しを図りながら、人口カバー率の向上及び長期かつ安定的な備蓄に努めるものとする。

①食料等

（ア）パン缶詰【積算対象：３～７４歳】
・災害発生当日１食分、１人当たり１食分
・1,598人×20％×１食≒350食
・消費期限　約５年

（イ）アルファ米【積算対象：３～７４歳】
・災害発生翌日２食分、１人当たり２食分
・1,598人×20％×２食≒700食
・消費期限　約５年

（ウ）アルファ米（おかゆ）【積算対象：１、２歳及び75歳以上】
・災害発生当日１食、翌日２食分、１人当たり３食分
・851人×20％×３食≒550食
・消費期限　約５年

（エ）液体ミルク【積算対象：０歳】
・１回あたり１缶（200ml）、１日５回の４日分（基本日数＋２日）
・10人×１缶×５回×４日＝200缶
・消費期限　約1.5年

（オ）フォローアップ液体ミルク【１～３歳】
・１回あたり１缶（200ml）、１日２回の４日分（基本日数＋２日）

・20人×１缶×２回×４日＝160缶
・幼児期の栄養補給用

（カ）ミルクアレルギー用粉ミルク【積算対象：０歳】
・１缶　800ｇ÷30g（約200ml）＝50回分（１日５回で10日分）
・アレルギー割合10％程度　１人＋予備１人分（２人分）＝２缶
・消費期限 約1.5年

（キ）離乳食【０．５～１．５歳】
・15人×３食×４日分＝180食（基本日数＋２日）
・主食（180食）＋副菜（素材：180食）
・不足の場合、アルファ米（おかゆ）で対応

（ク）サバイバルフーズ【積算対象：応急作業従事者等】
・避難長期化時や応急作業従事者用として備蓄
・作業従事者160人×３食＝480食分
・消費期限　約25年(24℃以下)

（ケ）飲料水【積算対象：全員】
・災害発生当日・翌日、１人当たり１日３ﾘｯﾄﾙ
・2,454人×20％×３ﾘｯﾄﾙ≒1,500ﾘｯﾄﾙ／1日
※ペットボトル入り保存水（15年保存）を備蓄
※不足した場合に中核避難施設の受水槽（歌志内学園受水槽22,500ﾘｯﾄﾙ）から支給するため給水バックを備蓄

（コ）防災用カップラーメン【積算対象：３～７４歳】
・災害発生当日１食分、１人当たり１食分
・1,598人×20％×１食≒350食
・消費期限　約３年

②生活用品等

（ア）毛布【積算対象：全員】
・１人当たり１枚
・2,454人×20％×１枚≒500枚

（イ）給水バッグ【積算対象：全員】
・１人当たり１枚
・2,454人×20％×１枚≒500枚

（ウ）哺乳瓶【積算対象：０歳】
・１人当たり2本（240ml／本）
・15人（４人+予備２人）×２本＝30本

（エ）簡易トイレ・テント【積算対象：紙おむつ（(カ)･(キ)）の対象以外者】
・40人当たり１台
・各施設収容数の20%
・指定避難所は性別を配慮し設置数2倍（最低台数2台）

指定避難所

コミュニティセンター	282人×20%÷40人×2倍≒3台
歌神地区集会所	15人×20%÷40人×2倍≒2台
神威神楽岡地区集会所	27人×20%÷40人×2倍≒2台
チロルの湯	98人×20%÷40人×2倍≒2台
中村地区集会所	38人×20%÷40人×2倍≒2台
歌志内学園	708人×20%÷40人×2倍≒8台

指定緊急避難場所（屋内）

上歌ストックヤード	150人×20%÷40人≒1台
東光地区集会所	160人×20%÷40人≒1台
本町第一町内会館	140人×20%÷40人≒1台
本町第二町内会館	230人×20%÷40人≒2台
妙法寺	180人×20%÷40人≒1台
神威シルバーハウジング	30人×20%÷40人≒1台
文珠第一町内会館	150人×20%÷40人≒1台
文珠本通り地区集会所	120人×20%÷40人≒1台
文珠しらかば団地町内会館	160人×20%÷40人≒1台
文珠第三町内会館	190人×20%÷40人≒1台
予備(従事者等)	16台
	計　46台

（オ）トイレ処理セット【積算対象：紙おむつ（(キ)･(ク)）の対象以外者】

・１人１日６回使用、２日分を想定

・指定避難所６箇所への備蓄

・指定避難所収容数の20%

指定避難所

コミュニティセンター	282人×20%×６回／1日×２日分≒700回分
歌神地区集会所	15人×20%×６回／1日×２日分≒50回分
神威神楽岡地区集会所	27人×20%×６回／1日×２日分≒100回分
チロルの湯	98人×20%×６回／1日×２日分≒250回分
中村地区集会所	38人×20%×６回／1日×２日分≒150回分
歌志内学園	708人×20%×６回／1日×２日分≒1,750回分
	計　3,000回分

（カ）トイレットペーパー【積算対象：全員】

・１人１日当たり６ｍの２日分（１個60m）

・2,454人×20%×６ｍ÷１個60m×２日≒100個

（キ）紙おむつ（子ども用）【積算対象：０～３歳】

※対象者の年齢等を考慮し、応急対策後においても柔軟に、必要に応じて消費することを前提として積算した。

・１人１日当たり10枚の３日分
・26人×10枚×３日分（基本日数＋１日）＝780枚

（ク）紙おむつ（高齢者用）【積算対象：要介護度３以上】
※対象者の身体状況を考慮し、応急対策後においても柔軟に、必要に応じて消費することを前提として積算した。
・１人１日当たり６枚の３日分
・81人×６枚×３日分（基本日数＋１日）≒1,500枚

（ケ）生理用品【積算対象：10～55歳の女性】
・１人当たり１パック（約30個）
・358人×20%≒80ﾊﾟｯｸ（2,400個）

（コ）マスク【積算対象：全住民（100%～感染症対応のため）】
・2,454人×2枚×３日分≒10,000枚

（サ）アルコール消毒液
・屋内避難所16か所×1L消毒液×２か所設置×５回補充分＝160L

（シ）使い捨て手袋
・作業従事者200人（炊出等含む）×５日分×２枚＝2,000枚（1,000組）

③その他

（ア）土のう袋
・目標数　4,000枚（市役所2,000枚、歌志内学園・消防本部各1,000枚）

（イ）ブルーシート
・目標数　300枚（市役所178枚・歌志内学園100枚・消防本部22枚）

（ウ）懐中電灯
・目標数　50本（市役所30本・歌志内学園20本）

（エ）救急箱（消毒液、アルコール消毒綿、滅菌ガーゼ、カット綿、絆創膏、冷却シート、三角巾、サージカルテープ、包帯、綿棒、体温計、アイスバッグ、グルーミングセット、ツールボックス）
・目標数　10セット（各避難所）

（オ）段ボールベッド
・目標数　100台（市役所、各避難施設）

（カ）カセットコンロ
・目標数　7台（市役所、各避難所等）

（キ）対流式ストーブ（付属品：灯油ポリ容器・ポンプ）
・目標数　10台（市役所、各避難所等）

（ク）車いす
・目標数　2台（市役所、各避難所等）

（ケ）土のうステーション用パレット
・目標数　24個（市内12カ所）

（コ）土のうステーション用カバー

・目標数　12枚（市内12カ所）

（サ）防災用断熱シート

・目標数　50メートル（各避難施設）

（シ）コードリール

・目標数 15台（各避難施設）

（ス）発電機

○低圧LPガス発電機（一式：専用ガス供給ボックス・エンジンオイル・ボディーカバー・防音ボックス・チャージコード）

・目標数　9台（各避難施設）

○ガソリン用発電機（一式：エンジンオイル・ボディーカバー・防音ボックス・チャージコード・ガソリン携行缶）

・目標数　5台（各避難施設）

（セ）投光器

・目標数　14台（各避難施設）

（ソ）防災用ラジオ

・目標数 10台（災害対策本部各部）

（タ）災害対策用プライベートルーム

・目標数 100張（市役所）

（チ）トイレハウス

・目標数 8基（市役所）

（４）備蓄場所

備蓄物資は、数量、保管場所の規模等の状況に加え、保管場所が被災する可能性等を考慮し、災害時に応急対策の中心となる以下の施設へ分散して保管することを基本とする。

１．　歌志内市役所

２．　歌志内市消防本部

３．　文教施設（コミュニティセンター、こども未来地域交流センター、歌志内学園）

なお、上記以外の避難所（町内会館等）やその他の公共施設等における備蓄については、本計画による備蓄とは別に、各地域の自主防災活動への支援及び防災・減災意識の普及啓発等により推進する。

３　備蓄物資の活用等について

（１）食料等の消費期限のあるもの

消費期限に応じた入替を考慮するとともに、保存期間が一定程度経過したものは、防災訓練等において自主防災・自主備蓄の普及啓発の一環として配布するなど、安易に廃棄することとならないよう留意し、効果的な活用に努めるものとする。

（２）食料以外の物品

食料以外の物品については、実用性及び保存状態・衛生面などを考慮して可能な限りクリーニング等による再利用や、訓練又は啓発用物品として使用するなど、効果的な活用に努めるものとする。

（３）災害時の物資供給等について

本計画により整備した備蓄品は、歌志内市防災計画（衣料、生活必需品等物資供給計画）の規定に基づき災害時に市民へ供給することを基本とするほか、大規模な事故の発生等により応急援助を必要とする者がいるときや、広域的災害における他自治体への支援など、人道的見地から必要と認められる場合に幅広く活用するものとする。

４　その他

（１）家庭内備蓄について

本計画による行政備蓄の整備の推進とは別に、家庭内備蓄の意義や必要性について適宜広報を実施し、災害発生時の「減災」に必要不可欠である自主防災の普及啓発を推進するものとする。

［家庭で備蓄するものの目安］

・食　料 ～ ３日分以上
・飲料水 ～ 〃 （１人１日 約３リットル）
・その他 ～ 携帯ラジオ、懐中電灯、軍手、タオル、ティッシュ、ばんそうこう等

（２）その他

災害時の応急物資調達については、本計画に基づく行政備蓄及び（１）の家庭内備蓄のほか、事業者からの調達（流通備蓄）や各種協定など、複数の手段を確保するよう取り組むものとする。

＜資料１＞行政備蓄の状況及び備蓄計画数

品　　目	単位	備蓄数（R8.6.1）	令和8年度 消費 予定数	令和8年度 備蓄 予定数	令和9年度 備蓄 予定数	目標数
①（ア） パン缶詰	食	504	168	14		350
（イ） アルファ米	食	1,070	420	50		700
（ウ） アルファ米（おかゆ）	食	600	300	250		550
（エ） 液体ミルク	缶	144	144	200		200
（オ） フォローアップ液体ミルク	缶	80	80	80	160	160
（カ） ミルクアレルギー用粉ミルク	缶	10	10	2		2
（キ） 離乳食（主食、副菜）	食	60		60	60	180
（ク） サバイバルフーズ	食	485				480
（ケ） 飲料水（ペットボトル入）	リットル	2,055.5				1,500
（コ） 防災用カップ麺	個	500	200	50		350
②（ア） 毛布	枚	800				500
（イ） 給水バッグ	枚	801				500
（ウ） 哺乳瓶	本	22				30
（エ） 簡易トイレ・テント	台	46				46
（オ） トイレ処理セット	回	3,450				3,000
（カ） トイレットペーパー	個	180				100
（キ） 紙おむつ（子ども用）	枚	792				780
（ク） 紙おむつ（高齢者用）	枚	1,500				1,500

品　　目	単位	備蓄数 (R8.6.1)	令和8年度 消費 予定数	令和8年度 備蓄 予定数	令和9年度 備蓄 予定数	目標数
（ケ） 生理用品	個	2,424				2,400
（コ） マスク	枚	25,000	19,000	4,000	3,000	10,000
（サ） 消毒用アルコール	リットル	173				160
（シ） 使い捨て手袋	枚	3,200				2,000
③（ア） 土のう袋	枚	3,975	1,000	1,100		4,000
（イ） ブルーシート	枚	300				300
（ウ） 懐中電灯	個	50				50
（エ） 救急箱	セット	10				10
（オ） 段ボールベッド	台	100				100
（カ） カセットコンロ	台	7				7
（キ） 対流式ストーブ 付属品：灯油ポリ容器 ・ポンプ	台	10				10
（ク） 車いす	台	2				2
（ケ） 土のうステーション用 パレット	個	24				24
（コ） 土のうステーション用 カバー	枚	12				12
（サ） 防災用断熱シート	メートル	50				50
（シ） コードリール	台	15				15
（ス） 低圧LPガス発電機 ガソリン用発電機	台 台	9 5				9 5

品　　目	単位	備蓄数 (R8.6.1)	令和8年度 消費 予定数	令和8年度 備蓄 予定数	令和9年度 備蓄 予定数	目標数
（セ） 投光器	台	14				14
（ソ） 防災用ラジオ	台	10				10
（タ） 災害対策用プライベートルーム	張	60		20	20	100
（チ） トイレハウス	基	3		3	2	8

＜資料２＞　備蓄場所内訳（令和8年6月1日現在）

品　　目	単位	数　量	保　管　場　所					
			市役所	歌志内学　園	コミュニティセンター	こども未来地域交流センター	消　防 本　部	各避難 施　設
①（ア） パン缶詰	食	504	216	120		168		
（イ） アルファ米	食	1,070	510	150		410		
（ウ） アルファ米(おかゆ)	食	600	300			300		
（エ） 液体ミルク	缶	144	72			72		
（オ） フォローアップ液体ミルク	缶	80	32			48		
（カ） ミルクアレルギー用粉ミルク	缶	10	9			1		
（キ） 離乳食	食	60	24			36		
（ク） サバイバルフーズ	食	485	365	120				

品　　目	単位	数　量	保　管　場　所					
			市役所	歌志内学　園	コミュニティセンター	こども未来地域交流センター	消　防本　部	各避難施　設
(ケ) 飲料水（ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ入）	ﾘｯﾄﾙ	2,055.5	1,815.5	受水槽対応		240		
(コ) 防災用カップ麺	個	500	296			204		
②(ア) 毛布	枚	800	230	210	50	270	40	
(イ) 給水バッグ	枚	801	381	420				
(ウ) 哺乳瓶	本	22	10	12				
(エ) 簡易トイレ・テント	台	46	21	5		20		
(オ) トイレ処理セット	回	3,650	1,800	50		1,800		
(カ) トイレットペーパー	個	180	90	54		36		
(キ) 紙おむつ(子ども用)	枚	792	396			396		
(ク) 紙おむつ(高齢者用)	枚	1,500	686			814		
(ケ) 生理用品	個	2,424	1,320			1,104		
(コ) マスク	枚	25,000	25,000					
(サ) 消毒用アルコール	ﾘｯﾄﾙ	173	173					
(シ) 使い捨て手袋	枚	3,200	3,200					

品　　目		数　量	保　管　場　所					
			市役所	歌志内学　園	コミュニティセンター	こども未来地域交流センター	消　防本　部	各避難施　設
③(ア) 土のう袋	枚	3,975	2,975	1,000				
(イ) ブルーシート	枚	300	178	100			22	
(ウ) 懐中電灯	個	50	20	20		10		
(エ) 救急箱	ｾｯﾄ	10						
(オ) 段ボールベッド	台	100	79	10	5			6
(カ) カセットコンロ	台	7	6					1
(キ) 対流式ストーブ 付属品：灯油ポリ容器・ポンプ	台	10	10					
(ク) 車いす	台	2	1					1
(ケ) 土のうステーション用パレット	個	24	24					
(コ) 土のうステーション用カバー	枚	12	12					
(サ) 防災用断熱シート	ﾒｰﾄﾙ	50	50					
(シ) コードリール	台	15						15

（ス） 低圧LPガス発電機 ガソリン用発電機	 台 台	 9 5						 9 5
（セ） 投光器	 台	 13						 13
（ソ） 防災用ラジオ	 台	 10	 10					 10

＜資料３＞　その他資器材等

品目等	数量	保管場所	備考
簡易ベッド	10	消防本部倉庫	貸与品
避難用プライベートルーム	1	〃	〃
ユニバーサルトイレ	1	消防本部倉庫	貸与品
発電機	1	市役所電気室	〃
LTEトランシーバー	6	市役所、 消防本部	

（令和8年6月1日現在）